

ソースネクスト株式会社 2024年3月期第2四半期 連結累計期間事業報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

次の、うれしい♪



ごあいさつ



代表取締役会長 兼 CEO 代表取締役社長 兼 COO

松田 憲幸 小嶋 智彰

平素より当社をご支持いただいている皆様に心から御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の実績につきまして、ご報告申し上げます。主力製品であるAI 通訳機「POCKETALK®(ポケットーク)」は、インバウンド需要の復活や今後の更なる需要回復への期待により、家電量販店チャネルを中心に前期比で売上高が増加しました。海外市場においても、特に米国において、非ネイティブに向けた多言語対応需要により教育機関、医療機関、公共機関、その他企業で導入され、当第2四半期連結累計期間の米国における売上高は前期比18.3%増となりました。

その他のIoT製品につきましては、文字起こしAIボイスレコーダー「AutoMemo(オートメモ)」の累計アカウント登録数(本サービスを利用する有料・無料会員合計)が2023年9月末時点で100,000を突破いたしました。サブスクリプション型テキスト化サービスの会員数も増加し、安定した収益基盤の構築を進めております。また、360度webカメラシリーズは法人のお客様からの需要を獲得し堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は52億26百万円(前期比13.4%増)となりました。一方で、今後の事業拡大のための人件費及び広告宣伝費の増加、当社直販サイトを新システムへ移行することに伴う業務委託費の一時的な増加等が影響し、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億50百万円(前期親会社株主に帰属する四半期純損失10億63百万円)となりました。前期に引き続き大変厳しい決算となりましたこと、皆様には深くお詫び申し上げます。

当社は、1996年の創業以来、「製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げる」をミッションに、お客様のニーズや時代に合わせ、パソコンソフトからIoT製品まで、事業領域を拡大してまいりました。これからも、「次の、うれしい♪」を感じていただける製品を、スピード感を持ってご提供するべく、製品の企画・開発に注力するとともに、収益の改善に向けて全力を尽くす所存でございます。

皆様のより一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2023年12月

会社情報

会社の概況	(2023年9月30日現在)
商号	ソースネクスト株式会社
英文社名	SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日	1996年8月2日
本社所在地	〒105-7133 東京都港区東新橋1丁目5番2号 汐留シティセンター 33階
資本金	3,703百万円
従業員数	単体132名(臨時5名含む) 連結167名(臨時5名含む)
事業内容	パソコン・スマートフォンソフトウェアおよびハードウェア製品の企画・開発・販売

役員状況 (2023年9月30日現在)

代表取締役会長 兼 CEO(最高経営責任者)	松田 憲幸
代表取締役社長 兼 COO(最高執行責任者)	小嶋 智彰
取締役 兼 CSO(最高販売責任者)	藤本 浩佐
取締役 兼 CFO(最高財務責任者)	青山 文彦
社外取締役	久保利 英明
社外取締役	安藤 国威
社外取締役	中井戸 信英
社外取締役	大上 有衣子
常勤監査役	廣瀬 正明
社外監査役	小林 哲也
社外監査役	木南 麻浦

株式状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	361,120,000株
発行済株式の総数	136,358,300株
株主数	53,646名

企業理念

社名の由来

「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション

製品を通じて、喜びと感動を、
世界中の人々に広げる

ビジョン

世界一エキサイティングな企業になる

エキサイティングの3条件

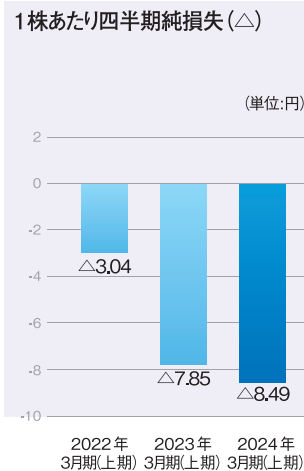
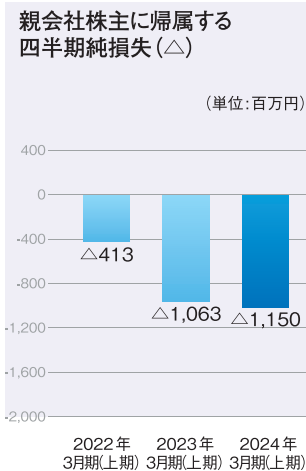
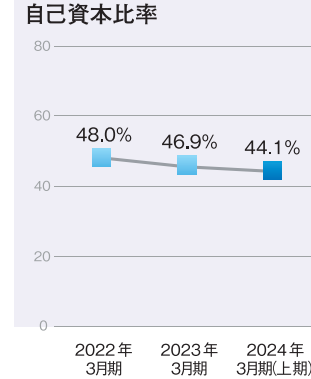
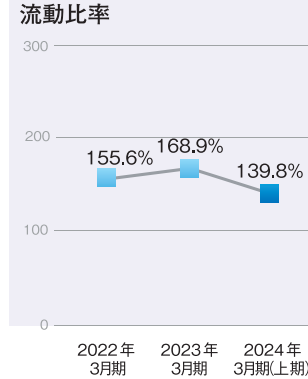
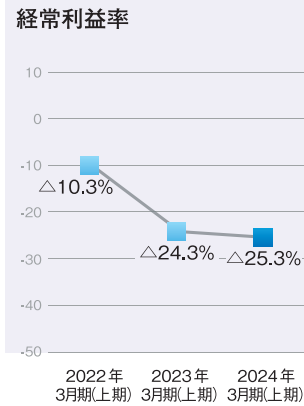
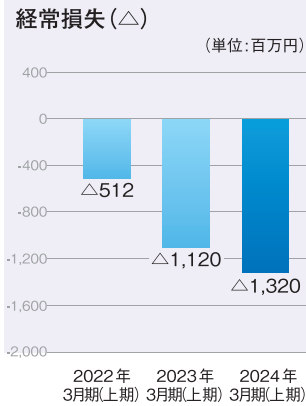
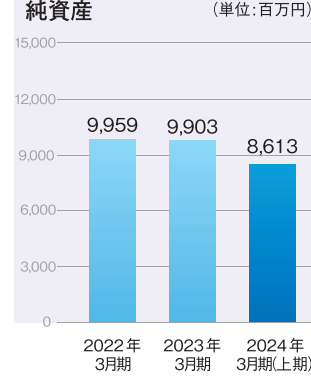
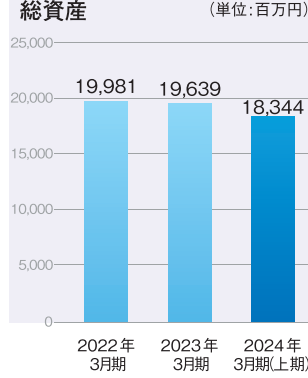
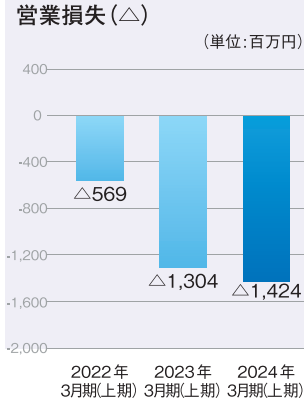
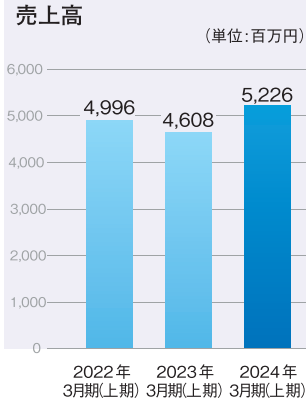
正しい
喜ばれる
面白い

バリュー

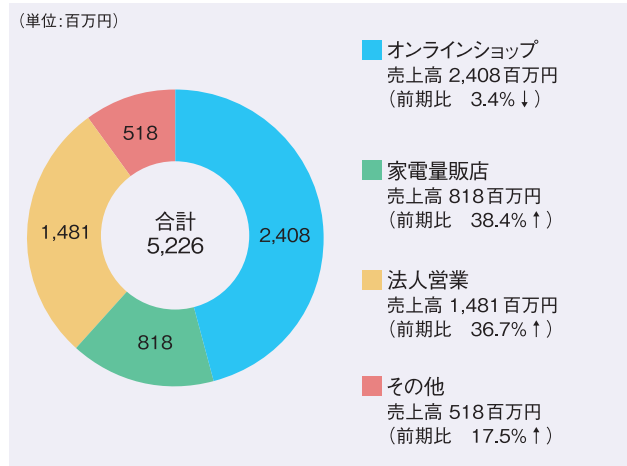
お客様の声を聞く
新しい市場を創る
挑戦を楽しむ

財務ハイライト

四半期連結業績推移



チャネル別売上高



四半期連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

2023年9月30日現在 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	10,765,951	流動負債	7,699,075
固定資産	7,578,138	固定負債	2,031,296
有形固定資産	69,462	負債合計	9,730,371
無形固定資産	3,609,657	純資産の部	
投資その他の資産	3,899,017	株主資本	7,833,931
		その他の包括利益累計額	250,711
		新株予約権	272,299
		非支配株主持分	256,776
		純資産合計	8,613,719
資産合計	18,344,090	負債純資産合計	18,344,090

四半期連結損益計算書

2023年4月1日から2023年9月30日まで (単位:千円)

科目	金額
売上高	5,226,709
売上原価	2,498,846
売上総利益	2,727,863
販売費及び一般管理費	4,152,843
営業損失(△)	△1,424,979
経常損失(△)	△1,320,934
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,275,000
法人税等合計	54,257
四半期純損失(△)	△1,329,257
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△179,069
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,150,188

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2023年4月1日から2023年9月30日まで (単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,118,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△550,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△257,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,627,739

2024年3月期 通期業績予想

売上高	13,846百万円	33.8% 増↑
営業利益	21百万円	
経常利益	65百万円	
親会社株主に帰属する 当期純利益	29百万円	
1株当たり当期純利益	0.22円	

より詳しい情報は当社IRサイトでご覧になれます。
<https://sourcenet.co.jp/ir/>

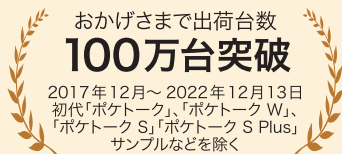
製品紹介

日本でも海外でも、法人需要 に応え、製品が続々と進化。

IoT 製品

AI通訳機 ポケットークのさらなる展開と、ポケットークの技術を応用した新製品でマーケットの拡大を図っています。

広がる、ポケットーク POCKETALK



AI通訳機「ポケットーク」

「ポケットーク」は、74言語を音声とテキストに、11言語をテキストに翻訳できるAI通訳機です。新型コロナウイルス対策の緩和によるインバウンド需要の増加を背景に、出荷台数100万台を突破しました。

スマホ用アプリ「ポケットーク」(iOS版/Android版)

本アプリは、AI通訳機「ポケットーク」をより身近なスマートフォンで使えるようにしたものです。

Google Play ベスト オブ 2022 「部門賞」受賞。

ポケットーク for Business 「同時通訳」

本製品は、同時通訳のように相手の話す言葉を本国語に逐次翻訳し、音声と字幕で理解できるソフトです。オンラインでも、対面でも使え、企業の通訳の手配や費用の削減に貢献します。パソコンでもスマホでも、インストール不要でブラウザで使えます。

ポケットーク for Business 「カンファレンス」

本製品は、講演イベントなどで使える同時通訳システムです。聞き手はソフトなどのインストールなど不要でスマートフォンで会場内の2次元コードを読み取るだけで利用できます。

ポケットーク for Business 「ムービー翻訳」

本製品は、動画ファイルに翻訳した字幕と音声を追加できるサービスです。すでにある動画の翻訳やマニュアルの多言語化などに役立ちます。



専用ボイスレコーダー オートメモ S(左)と オートメモ R(右)



文字起こしAI オートメモ

オートメモは、録音した音声のテキスト化、編集、共有ができる文字起こしAIです。専用ボイスレコーダー、専用スマホアプリで録音すれば自動で文字起こしされ、話者を分離できます。2023年9月にはオートメモアカウントは累計10万を突破しています。



専用スマートフォンアプリ オートメモ App



文字起こしAI オートメモのテキスト編集画面

ヘルステック

高齢者見守りデバイス POM(ポム)

「ポム」は、高精度のミリ波レーダーを使った高齢者の健康状態を見守るデバイスです。部屋に取り付けるだけで、見守る対象者に触れることなく心拍や睡眠などの健康データを取得し、独自のAI技術でデータを分析して、レポートします。



リモート会議 関連製品

カメラ、マイク、スピーカーが一体になった 会議用360度webカメラを2製品販売しています。



参加者の顔が見える「KAIGIO CAM360」

「カイギオ カム360」は、AIが会議の参加人数に合わせて画面を自動で分割して映し出します。参加者の表情がわかる一体感ある会議ができます。



話者をアップにする「ミーティングオウル」

「ミーティングオウル」は、発言者を自動でフォーカスし、クローズアップ。人数が多めの会議室にいます。累計出荷台数は3万台を超え、多くの企業に導入されています。

スマートフォンアプリ



文字で読める留守電サービス 「スマート留守電」

留守番電話の音声だけを聞けるだけでなく、文字起こしたテキストメッセージも読めるサービスです。メールやLINEに転送できるため、大事な電話を逃しません。最近、留守電が特殊詐欺への対策にも有効として注目され、本サービスも人気を集めています。

パソコンソフト

テレワークの急速な浸透で、ビジネスソフトやセキュリティ、さらに学習ソフト、教育ソフトなどの需要が拡大しています。

ペーパーレス化のニーズに応える「いきなりPDF Ver.11」



2003年の発売以来、20年連続で販売本数No.1(株式会社BCN調べ)。高性能・低価格でPDF作成の常識を変えたロングセラーです。累計導入実績は1万社以上。文書管理の効率化に貢献します。

期限なしのウイルス対策ソフト「ZERO」



ZEROシリーズは「端末固定・期限なし」。入れた端末が使えなくなるまで守り続ける製品です。1台に1本、1回入れれば、セキュリティ対策が完了するため、ウイルス対策の負担を大きく軽減します。

法人用製品「スーパーセキュリティ for Business」

2023年9月より、PC全台への設定や管理が一面面で完結する「スーパーセキュリティ」の法人用製品を提供開始。世界最高レベルの性能と国内最安クラスの価格で、新市場に挑みます。



3ブランドの年賀状ソフト

年賀状ソフトのトップシェア製品「筆まめ」、自社著作の「筆王」、Mac用の「宛名職人」を発売しています。3ブランドのソフトを通じて、大切な人との絆を深めます。自社サイトでは毎年の自動継続版が好評で、売上も堅調です。



ソフトウェア3部門で
年間販売数量
No.1を受賞

2022年1月～12月、ソフトウェア24部門から「トレーニングソフト」、「文書管理ソフト」、「葉書・毛筆ソフト」を抽出。全国の主要家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの年間販売数を集計する。株式会社BCN調べ

ユーザーサービス

1800万人を超えるご登録ユーザー

当社グループは、ダウンロード販売を中心に自社サイトでの通信販売を展開。製品をご購入になりユーザー登録をされたお客様には、アフターサービスの一環としてバージョンアップやユーザー割引など、末永いお付き合いをいただけるよう努めています。ユーザー登録数はのべ1800万人を超え、当社グループの大きな資産となっています。

よくあるお問合せ

Q. 最も人気の高い製品・サービスは何ですか？

A. AI通訳機「ポケットーク」及び、文字起こしAIボイスレコーダー「オートメモ」などIoT製品が好評です

「ポケットーク」は2017年12月の発売以来、累計出荷台数100万台を突破(2022年12月時点)。リモート会議で「ポケットーク」が使えるようになったことや、米国での認知が高まり、米国内における非ネイティブへの言語対応の為に、医療機関や学校、公共機関等での採用が加速しています。また「ポケットーク」で培った音声認識等の技術を活かした、文字起こしができるボイスレコーダー「オートメモ」は、音声認識精度などの地道な改善を続け、サービス利用アカウント数が10万を超えるなど、好評いただいています。

Q. 株主還元策はどのように考えていますか？

A. 安定的に配当する方針を堅持しています

業績、配当性向及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮し利益配分を基本方針としております。これまで10から15%の配当性向にて配当を実施してまいりました。しかしながら、前期は23億3百万円の当期純損失を計上しております。業績の回復に全力を注ぐと共に、中長期的な成長を支える基盤を立て直していくため、誠に遺憾ではございますが当期につきましては無配を予定しております。株主還元施策として導入した株主優待制度に関しましては、引き続き実施いたします。保有いただいている株数に応じて、当社サイトでの購入の際にご利用できるソースネクストポイント(特典ポイント)を進呈いたします。

Q. 今後の事業戦略は？

A. インバウンド・アウトバウンドの需要回復に向けて「ポケットーク」の拡販及び、ビジネス向け製品やリモート会議に対応した製品を拡充します
インバウンド・アウトバウンド需要が回復基調にあるため、人流の大幅な回復を見据えて「ポケットーク」の機能拡張および国内・海外での販路拡大を推し進めます。「ポケットーク」は専用端末の事業だけでなく、ソフトウェアで同時通訳ができる「ポケットーク for BUSINESS 同時通訳」なども並行して販路拡大していく予定です。360度カメラ「カイギオカム 360」や、文字起こしAIボイスレコーダー「オートメモ」などのIoT製品、ビジネス用ソフトウェアは今後も拡充し、時代の変化に対応した新製品を投入していきます。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか？

A. コンプライアンス重視の風土を築いております

当社の理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育をしております。さらに、法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる通報窓口を設置、運営しています。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>

(株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について)
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

(特別口座について)

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更などのお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法

電子公告の方法により行ないます。
(<https://www.sourcenext.com/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は日本経済新聞に掲載します。

証券コード

4344

上場証券取引所

東京証券取引所 プライム市場



ソースネクスト株式会社
〒105-7133
東京都港区東新橋一丁目5番2号
汐留シティセンター33階

●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標もしくは登録商標です。
●その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。